

世に問ふ蒐集品

少年考古學者

専門家も舌をなごく

一再晴天

向學の一青年

自宅の廣い離れにさつ

を中心に行き

名の少年達が

しおまつて庭にも縁の下

迄も占領してゐる始末

この中には甚多く得がたい骨

没頭、近く蒐集品を世の考古

学者間に問ふこととなつた、

夢多い頃の青

この中には甚多く得がたい骨

の構、土製の耳飾り、燧石製

のオノ、強生指揮形土器

等貴重な物も珍くない、帝室

博物館の鑑査官補高橋男氏、

藏氏四男六郎君(二一)宅に本

大森區入新井二ノ九八松岡寅

據を置く「考古學研究議會」

と會員達だ

松岡君の在原中

學時代の同級生小川鶴三、佐

久間昇兩君の外同中學三、佐

塚始娘玉縣入沼郡の兩員

南多摩加住村方面八王子

吉祥寺、神奈川縣橘樹郡方

而等々考古學研究會で組織され居

り、何れも熱心な少年學徒計約一萬点

松岡君の研究室

研究を

発表

少年研究家の氣を

好者に頗つてゐるが、今度は

愈々帝室博物館の日本考古學

會に入會、大人の學會にそ

と感心してゐる毎月一回少

年手會の月報まで發行同

少年達ばかりで而も短期間

によくこれまで集めたものだ

の始末さ「心境如何? 落伍者

は吹かねば行かぬ雲となり」

やつて一万円に食はれ、肩

バタタッセ(セ第)

バタタッセ(セ第)

強氣

青 麦 粉

小麦粉(内國産) 静穏

上 五百

中 一千

下 二千

青 麦 粉

アマランチヨウ・アーモンド

アーモンド・アーモンド

アーモンド・ア